

アール・ブリュット 2026 巡回展 「ソウゾウ・トレーニング！ーひきだす、つなぐ、この場所でー」



東京都渋谷公園通りギャラリーは、東京都とともに、2026 年 10 月 10 日（土）より、**アール・ブリュット 2026 巡回展「ソウゾウ・トレーニング！ーひきだす、つなぐ、この場所でー」**を都内 3 カ所で開催いたします。

〈第 1 会場〉東京都渋谷公園通りギャラリー（2026 年 10 月 10 日ー 12 月 27 日）を皮切りに、

〈第 2 会場〉港区立高輪区民センター（2027 年 1 月 15 日ー 1 月 24 日）、

〈第 3 会場〉小金井市立はけの森美術館（2027 年 1 月 29 日ー 2 月 14 日）と巡回いたします。

本展では、アール・ブリュット*分野を専門として先駆的に活躍する、**はじまりの美術館**（福島県猪苗代町）のキュレーター陣を招聘し、かれらが注目する 7 名(組)の作家の「自らの切実な想いを引き出し、表現を紡ぐ」力を紹介します。また、作家たちの表現が鑑賞者の想像力を引き出し、自分の中に眠る想いを呼び覚ます、創造的な「ソウゾウ・トレーニング（想像力のトレーニング）」の場を会場に創出します。

個性豊かな作家や作品について紹介する音声ガイドのナビゲーターは、俳優・ダンサーの森山未来さん。森山さんが案内する「ソウゾウ・トレーニング」を体験しませんか？

音声ガイド ※全会場において、無料でお聴きいただけます

ナビゲーター 森山未来（俳優・ダンサー）

1984 年生まれ。「関係値から立ち上がる身体的表現」を求めて領域横断的に国内外で活動を展開。東京 2020 オリンピック開会式にてオープニングソロパフォーマンスを担当。2022 年より神戸市にて Artist in Residence KOBE (AiRK) を設立し運営に携わる。ポスト舞踏派。



©Takeshi Miyamoto

***アール・ブリュット (Art Brut)** は、フランスの芸術家ジャン・デュビュッフェによって提唱されたことばです。今日では、広く、専門的な美術の教育を受けていない人などによる、独自の発想や表現方法が注目されるアートを表します。

ー このリリースにかかるお問い合わせ／取材お申し込み ー

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 （（公財）東京都歴史文化財団 東京都現代美術館 文化共生課）

Tel : 03-5422-3151 Fax : 03-3464-5241 E-mail : pr-skdg@mot-art.jp

展覧会の見どころ

① はじまりの美術館との共同キュレーション

アール・ブリュットと現代アートのボーダレスなキュレーションを積み重ね活躍する、はじまりの美術館を招聘し、東京都渋谷公園通りギャラリーとの共同キュレーションが実現。はじまりの美術館が注目する作家の紹介のほか、鑑賞者の「ソウゾウ」がにつながる展示の工夫も見どころです。

② 「ソウゾウ・トレーニング（想像力のトレーニング）」を誘発する会場デザイン

会場構成を担当した NPO 法人チア・アート＋筑波大学岩田祐佳梨研究室が、「トレーニング」の語源である「引き出す」をコンセプトに、抜け感のある軽やかな展示空間を提案。見え隠れする作品それぞれが呼応し合い、鑑賞者の「ソウゾウ」を引き出します。

③ 多様な人々が楽しめる、音声ガイドやイベント、アクセシビリティ・プログラムを実施

森山未来さんによる音声ガイドが全会場無料でお聴きいただけるほか、第1会場の渋谷公園通りギャラリーでは、分身ロボット「OriHime」とまわる鑑賞ツアーや、視覚障害のある方のための触図をつかった鑑賞ツアー、やさしい日本語による鑑賞ガイドの配布など、多様な人々が楽しめる機会を創出します。このほか、出展作家によるアーティスト・トークも開催します。

出展作家紹介



図版1 香川大介《目をとじて この世界は 感じるままに》2020年、作家蔵

香川大介 KAGAWA Daisuke

1981年 福岡県生まれ、栃木県在住。

絵画収入による日本徒歩縦断などを経て、画家としての独自のスタイルを確立。具象と抽象が混じり合う有機的な文様やモチーフを、緻密かつ大胆に描く。近年の主な展示に、「信濃の国 原始感覚芸術祭」（〔長野〕2011年より毎年参加）、個展「いのちたちのコイル」（ツォモリリ文庫〔東京〕2024年）。



図版2 清水ちはる《小箱》制作年不明、作家蔵

清水ちはる SHIMIZU Chiharu

1994年 宮城県生まれ、宮城県在住。

小学校の担任の先生からその特徴的な丸文字を認められ、書いた文字を手元に残すようになる。また、自宅では小箱を作り続けている。近年の主な展示に、「日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 企画展ミュージアム・オブ・トゥギャザー」（スパイラルガーデン〔東京〕2017年）、「やわらかくなってみる」（はじまりの美術館〔福島〕2021年）。



図版3 杉浦篤《無題》制作年不明、工房集蔵

杉浦 篤 SUGIURA Atsushi

1970年 埼玉県生まれ、埼玉県在住。

1997年より社会福祉法人みぬま福祉会の施設で活動。気に入った写真を何年も触り続け、写真の表面や角が削れ様々な形となり、一つの作品となっている。近年の主な展示に、「すごいぞ、これは！」（埼玉県立近代美術館〔埼玉〕2015年）、「Art Brut from Japan, Another Look」（アール・ブリュット・コレクション〔スイス・ローザンヌ〕2018年）。



図版4 田口 BOSS 《無題》（22-27）2022 年、作家蔵、撮影：田口まき

田口 BOSS TAGUCHI BOSS

1945 年 島根県生まれ、熊本県在住。

70 代で仕事を引退し、75 歳のときに生活の変化をきっかけに絵を描きはじめる。ペンや色鉛筆を使った絵画を 6 年で、400 枚ほど描く。近年の主な展示に、「誰も知らない」（熊本市現代美術館〔熊本〕2022 年）、田口 BOSS・ジジ二人展「いまここ、これから」（タナベ画廊〔東京〕2025 年）。



図版5 ぬか つくるとこ《ナントナティックウェイトリフティング協会》2022 年、作家蔵

ぬか つくるとこ NUCA Tsukurutoko

2013 年 岡山県にて開所した生活介護事業所。

生活のケアを柱に、アートを活用して自分らしい生活をおくることを目指す福祉事業所。視点や角度を変える、多様な活動を実施している。近年の主な展示に、「日常をととのえる」（はじまりの美術館〔福島〕2022 年）、「第 4 回なんでそなん EXPO」（佐賀大学美術館〔佐賀〕2025 年）。



図版6 本田正《たくわん》2016-2024 年、作家蔵

本田 正 HONDA Tadashi

1979 年 福島県生まれ、福島県在住。

26 歳から作品制作を始める。2011 年、知的障がいと診断され、障がいとアートに興味をわく。近年の主な展示に、個展「Viva! Agri-Culture! えだまめとラディッシュ」（(PLACE)by method〔東京〕2023 年）、「物語ることも、物語らないことも、物語れないことも」（はじまりの美術館〔福島〕2023 年）。



図版7 森陽香《赤べこ》2020 年、はじまりの美術館寄託

森 陽香 MORI Haruka

1988 年 福島県生まれ、福島県在住。

生まれつきの脳性麻痺により両手が不自由ながら、車椅子に座り足の指に筆を挟んで作品を描く。動物や生き物、民芸品をはじめ、多様なモチーフを描く。近年の主な展示に、「アール・ブリュット ジャポネ II」（アル・サン・ピエール〔フランス・パリ〕2018-2019 年）、「unico file vol.4 わたしがつくる 森陽香美術館」（はじまりの美術館〔福島〕2023 年）。

共同キュレーション | はじまりの美術館

はじまりの美術館（福島県猪苗代町）は、社会福祉法人安積愛育園が運営する小さな美術館。日本財団の New Day 基金支援事業の一環として、2014 年 6 月に築約 140 年の酒蔵「十八間蔵」を改修して誕生。「人の表現が持つ力」や「人のつながりから生まれる豊かさ」を大切にした「誰もが集える場所」として、福祉とアートが同居するこの場所が、寛容で創造的な社会が開かれていくきっかけになることを目標としている。創立からこれまで、多くのアール・ブリュットと現代アートのボーダレスなキュレーションを積み重ねている。岡部兼芳氏、小林竜也氏、大政 愛氏の 3 名を共同キュレーターとして招聘する。



展覧会概要

展覧会名：**アール・ブリュット 2026 巡回展「ソウゾウ・トレーニング！ーひきだす、つなぐ、この場所でー」**

会場と会期：**<第1会場> 東京都渋谷公園通りギャラリー 展示室1・2**

2026年10月10日（土）－12月27日（日）

11:00～19:00（11月6日、13日、20日、27日は11:00～20:00）

〔休館日〕月曜日（10月12日、11月23日は開館）、10月13日、11月24日

<第2会場> 港区立高輪区民センター 展示ギャラリー

2027年1月15日（金）－1月24日（日） 11:00～18:00 会期中無休

<第3会場> 小金井市立はげの森美術館 展示室

2027年1月29日（金）－2月14日（日） 10:00～16:30 〔休館日〕月曜日

<出張イベント> 三宅村 阿古漁港船客待合所「ここぼーと」

ミニ展示とギャラリーツアー（予定）

2026年11月27日（金）、28日（土）

観覧料：無料

共同キュレーション：はじまりの美術館（岡部兼芳、小林竜也、大政 愛）

出展作家：香川大介、清水ちはる、杉浦 篤、田口 BOSS、ぬか つくるところ、本田 正、森 陽香 *五十音順

音声ガイド：森山未来（俳優・ダンサー）

会場構成：NPO 法人チア・アート＋筑波大学岩田祐佳梨研究室

グラフィック・デザイン：AFFORDANCE inc.

主催：東京都、東京都渋谷公園通りギャラリー（公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館）

後援：港区、小金井市、三宅村教育委員会

公式サイト：<https://inclusion-art.jp/s/sozotraining>

展覧会公式サイト▶



関連イベント ※第1会場 [東京都渋谷公園通りギャラリー] のみで実施します。

□ オープニング・アーティストトーク（手話通訳付き） [申込不要／先着順]

2026年10月10日（土） 14:00～15:30 定員：20名

ゲスト：はじまりの美術館キュレーター、香川大介、清水ちはる関係者、杉浦篤関係者、田口 BOSS、本田正、森陽香（オンライン出演）

□ ナントナティックトレーニングジム開所式（手話通訳付き） [申込不要／先着順]

2026年11月14日（土） 14:00～15:30 定員：20名

ゲスト：はじまりの美術館キュレーター、ぬか つくるところ

□ 視覚障害のある方のための触図をつかった鑑賞ツアー [事前申込制／抽選]

2026年11月22日（日） ①10:00～11:30 ②13:30～15:00

定員：各回5組程度 ※1名での参加も可能

□ スペシャルトーク [事前申込制／先着順]

2026年11月29日（日） 16:00～17:30 定員：20名

ゲスト：はじまりの美術館キュレーター、岩田祐佳梨（NPO 法人チア・アート | 本展会場構成担当）、平野篤史・赤間冴江子（AFFORDANCE inc. | 本展グラフィック・デザイン担当）

□ 分身ロボット「OriHime（オリヒメ）」鑑賞ツアー [事前申込制／抽選]

2026年12月14日（月） ①14:00～15:00 ②16:30～17:30

定員：各回1名（遠隔参加）



アール・ブリュット 2026 巡回展「ソウゾウ・トレーニング! -ひきだす、つなぐ、この場所で-」

[取材・画像使用申込書]

東京都渋谷公園通りギャラリー 広報担当 行

E-mail : pr-skdg@mot-art.jp Fax : 03-3464-5241

取材および広報用画像について

本展覧会の取材を希望される場合は、本紙に必要事項をご記入の上、EメールまたはFAXにてお申し込みください。また、本展覧会の広報用画像を希望されます場合は、希望画像をご記入の上お申し込みください。

☐ 取材希望

☐ 画像使用希望

貴媒体名：

掲載・放送予定日：

種別： TV ラジオ 新聞 出版媒体 WEB フリーペーパー その他（ ）

貴社名：

ご担当者氏名：

メールアドレス：

電話番号：

FAX：

ご住所：

取材希望日時：

使用希望画像

本リリース掲載画像のキャプションについている番号に印をお付けください。その他の画像をご希望の際は、広報担当にご相談ください。作品画像掲載の際は必ずキャプション及びクレジットの表記をお願いいたします。

☐ 1 香川大介《目をとじて この世界は 感じるままに》2020 年、作家蔵

☐ 2 清水ちはる《小箱》制作年不明、作家蔵

☐ 3 杉浦篤《無題》制作年不明、工房集蔵

☐ 4 田口 BOSS《無題》(22-27) 2022 年、作家蔵、撮影：田口まき

☐ 5 ぬか つくるとこ《ナントナティックウェイトリフティング協会》2022 年、作家蔵

☐ 6 本田正《たくわん》2016-2024 年、作家蔵

☐ 7 森陽香《赤べこ》2020 年、はじまりの美術館蔵寄託

☐ 8 本展ポスター

☐ 9 はじまりの美術館キュレーター画像

なお、取材および写真使用に際しましては、以下のことをお願いしております。

- ・ 掲載画像に添えて、当該作品のキャプション（作家名・作品名・制作年・所蔵・コピーライト）を明記してください。
- ・ 掲載画像のトリミング、文字載せはお控えください。
- ・ 記事掲載・放送日が決まりましたら、事前にご連絡ください。併せて、掲載内容もお知らせいただけますと幸いです。
- ・ 掲載・放送後、掲載誌（紙）PDF、DVD、CD、URL 等のご惠贈をお願いいたします。